

議会だより

みんな

笑顔で

あったかす

子雀の

(町花「マリーゴールド」の和名)

ずばり! ココが聞きたい 一般質問

P 2～ 議員定数12名を維持

P 8～ 議場コンサート/第4回定例会

P 10～ たかすをもっと元気に!活発に!...道外視察

P 12～ 第7回・第8回臨時会

P 14 第7回・第8回臨時会

P 15 5町研修会/管内町村議会議員研修会/議会のうごき

P 16 わたしの一言/くじやくそウクライズ

発行:北海道鷹栖町議会

編集:議会報特別委員会

2015

12月定例会号



町民の皆さんと議会をつなぐ議会報を目指して

No.157

一般質問

一般質問とは、定例議会において、各議員が住民を代表して、行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をただすことです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

質問

間口除雪・除排雪体制は

答弁 今後も生活に支障が出ないよう努める(町長)

子ども・子育て支援新制度での強化は

答弁 「子育てしやすいまちづくり」を目指す(町長)

大石 隆 議員



「一括質疑方式」
…質疑事項を全て述べて
答弁を求める方法。

グレーダー除雪車

毎 年住民から要望される道路除雪での玄関先の個別除雪の解決策と、車庫前、駐車場前など置き雪への対策を。
答弁 虚弱な高齢者や障がい者世帯は、間口に雪を残さない処理対策をとり、平成26年度の除雪援助世帯登録数は70世帯です。援助世帯以外でも削った雪を間口に残さない効果があるシャッターブレード装置を除雪車両へ取り付け、対象路線を増やして、効果も上がっています。

質問 福祉除雪サービスのさらなる充実。昨年は排雪車が不足していたが対応は。

答弁 援助世帯は高齢者事業団に委託して、道路から玄関までの通路等を確保しています。今年度、実態に合わせて利用時間制限を1カ月当たりから年間へと変更しています。

排雪時のダンプロトラックは平成25年度に2業者の新規登録で7台追加し、合計24台となり、支障はないと考えます。

質問 2階部分の屋根の雪降ろしに身体の不自由な方など、対象者の枠を設定して費用を助成し負担軽減を行っては。

答弁 高所部分は高齢者事業団では危険なため、必要な利用者に専門業者

の情報提供を行い、個々の対応となっています。今後、実態を調査して検討します。

子ども・子育て支援新制度が、平成27年4月から本格的にスタートし、当町も条例案が審議されます。

国の基準通りの条例案ではなく、上乘せした基準にする町独自の考えは。
答弁 別々の管理だった幼稚園と保育所を一体的な制度とし、待機児童を減らすことや地域の子育て支援も含めて、総合的な推進を目的としています。

放課後児童クラブの新しい基準では小学校6年生ま

でが受け入れ対象になりますが、本町では既に基準を満たしています。「地方版子ども子育て会議」の中でも、吟味して取り組めます。

質問 実施にあたり、専門スタッフの拡充が必要である。雇用条件、労働環境、賃金の引上げ等、課題は多いと思うが。
答弁 専門スタッフの労働環境の改善や賃金の引き上げ等は、役場全体での嘱託職員・臨時職員の給与見直しを進めており、その中で検討します。

ズバリ!! ココを問う!

質問

「一問一答方式」
…質疑事項を一つずつ取り上げ質疑、
答弁を繰り返す方法。

答弁

再検討する(町長)

「オオカミの桃」に「鷹栖町」の表記を



鷹栖町 鷹栖町農業振興公社は26年度産の「オオカミの桃」のラベルから「鷹栖町」の表記を消した。その際、取締役会にもかけず、消費者庁などにも問い合わせていないなどの問題もある。

町の宣伝効果の面でも大きな損失と考えるが町としては容認しているのか。

答弁 消費者の産地誤認など、リスク回避のための総合判断ということ、理解いただきたい。取締役会には株主として参加していますが、ラベルなど、経営に関することは取締役会議の決定事項のため発言は控えさせていただきます。

質問 「オオカミの桃」と同様のケースが問題になった例はあるのか。

答弁 判例等ではなく、消費者目線に立った判断です。

質問 「鷹栖町」の表記が、消費者に原材料が100%鷹栖町産という誤解を与えるのであれば、「鷹栖町特産品」として販売することも問題になるのでは。

答弁 間違いなく鷹栖町で製造している町の特産品です。今後も自信をもって積極的に販売・PRしていきます。

質問 「鷹栖町」の表記だけでなく原料産地との誤解を招くかもしれない

が、「鷹栖町特産品」とラベルに表記することはできないのか。

答弁 表記については再検討させていただきます。表示の工夫ができないか取締役会で議論します。

質問 町のタウンガイドは町外作付けがはじまる以前のものをそのまま使っている。誤解を与える情報が含まれており、消費者のことを考えるのであれば、早急にきちんと対応すべきでは。

答弁 一部で従来のビンを使っていたこともあり、印刷経費もかかるため、そのまま使用していません。

新年度での更新を予定していますが、消費者に

誤解を与えないような対応をしたいと考えています。

質問 「オオカミの桃」が鷹栖町の名とともに多くの方に届けられることを願っている。そのために町民の声も聞きながら判断するよう町長からも公社に提言してほしい。

答弁 思いは一緒だと思います。公社には町が50%の出資をしているので、そうしたいが、社長の立場として判断しなくてはならないこともご理解いただきたい。

片山 兵衛 議員



質 問

学校図書の実態と運営目標は

答 弁

子どもたちのために蔵書充実に努める(教育長)

中 村 公 憲 議員



「一問一答方式」
…質疑事項を一つずつ取り上げ質疑、
答弁を繰り返す方法。

児童図書

児 童生徒にとって、図書に触れ、読むことは語学力を育てるだけでなく、学力を上げる点でも注目され始めた。全国学力調査では、本をよく読む子どもは、国語に限らず、算数や数学の正答率も高い結果が出ている。学校図書の環境整備は、

答 弁 北野小は図書スペース、他の2校は図書室を確保しています。蔵書数は、両小学校が約5300冊、中学校が約4400冊です。文科省の冊数基準数値と比較すると3校とも下回っています。

質 問 各校の蔵書冊数は適正と考えるか。

各学校の蔵書数と充足率

	蔵書数 (冊)	基準値 (冊)	充足率 (%)
北野小	5361	9560	56.1
鷹栖小	5321	8360	63.6
鷹栖中	4394	10720	41.0

答 弁 処分、整理を行ったので、現在は充足率が低い状況となっています。

質 問 26年度予算ならば全学校の整備には16年かかる。2240万円投下すれば1年でクリアできるが、どう改善しているのか。

答 弁 限られた財政の中で難しい点もあるが、子どもたちにふさわしい図書環境を学校とも話し合いながら進めます。

質 問 子どもたちが我々の町にはこんなすばらしい学校図書館があると胸を張れるものにしては。

答 弁 整備・充実を図っていくことは大切なので、計画的に予算の確保に努めます。

質 問 学校図書館は地域に公開できることになっっているので、公民館図書予算を一極集中的に学校図書館に投入しては。

答 弁 学校の安全管理上、不特定の方が利用できる状況ではありません。

質 問 平成27年4月から「学校図書」配置が義務化するが、計画、準備は。

答 弁 現在、司書教諭を中心に図書活動の改善や工夫を行っているが、学校司書の配置について研究・検討していきます。

質 問 子は宝。その宝を育てるのは教育長の役目である。決意を持って学校図書の充実を。

答 弁 財政的なことを乗り越えて、子どものために頑張ります。



質問

「まち・ひと・しごと創生」への取り組みは

答弁

将来を見据えて総合戦略の策定を進める(町長)

「一問一答方式」
…質疑事項を一つずつ取り上げ質疑、
答弁を繰り返す方法。



トマト栽培のIT化

人 口減少と、東京一極集中の課題解決に向けた「まち・ひと・しごと創生法」の成立に伴い、子育て世代への支援策や女性が働きやすい環境づくりは。

答弁 若い世代が安心して子どもを産み、育てることができる環境をつくるため、中学生までの子ども医療費の無料化など、経済的支援を今後とも継続していきます。また、保育園の延長保育や病後児保育を継続し、保護者のニーズに合うように拡充策を検討します。

質問 農業者の定住促進を図るために、市街化調整区域内での宅地化を特区などの方法で許可できないか。

答弁 現在、町村会を通じて、規制緩和の要望をしています。農村部の親子の世代が安心して生活できる環境づくりや活性化を考えていきます。

質問 トマト栽培でITを活用して特産化できないか。また、新規雇用や新規就農者を増やすことができないか。

答弁 水稲育苗ハウス後でのト口箱養液栽培の試験を次年度も実施し、栽培技術の確立と普及方法を検討し、原料トマト栽培の拡大に努めます。「見える化研究グループ」の活動は、IT企業と連携して事業に取組んでいます。経験と勘に頼っていた栽培技術がデータ化されることにより、新規作付けや新規就農者の増加も期待できると考えています。

質問 東京一極集中の歯止めに対する、Uターン、Iターン希望者への支援策は。

答弁 都市部から地方に移住を促進するためには、受け皿となる住環境の整備と雇用の場の創出が必要と考えます。そのため、基幹産業である農業を核とした新たな産業の形成や、地域資源を生かした新たな特産品の開発、ブランド化など、新たな雇用の創出を目指した取り組みに対する支援などを検討します。

植西 辰義 議員



質問

農業振興と振興公社の方向性は

青野 敏 議員

特産品と振興公社の関わりは

時間をかけて慎重に進める(町長)

町として積極的に取り組む(町長)

「一問一答方式」
…質疑事項を一つずつ取り上げ質疑、
答弁を繰り返す方法。



きゅうりの選果場

鷹 栖町農業振興公社(以下「公社」)は、今後トマトジュース製造ときゅうりの選果事業に特化するのか。農業振興対策の中心的役割を担う考えは。

答弁 農産加工、集出荷施設部門を中心に事業を展開しています。

設立当時から農業振興のセンター的な機能を担うことも期待されていますが、公社のあり方や本質的な部分の検討が不十分でした。

方向性については大変重要な課題ですので、株主と調整の上で慎重に進めたいと考えています。

大 規模化や高齢により体力的に離農した農業者などに「農業者生産

バンク(仮称)」を組織してもらい、野菜集積農地を確保して原料トマトなどを生産しては。また、農業者が生きがいを持つて集う場所として提供しては。

答弁 地域の維持、住民の所得や雇用確保など、非常に重要なので、関係機関や農業者と十分協議を重ね、モデル的に実施することも検討します。

また、健康・生きがいづくりのための働く場所としても重要だと考えています。

質問 「ト口箱養液栽培」や「少量土壌培地耕」など、新たな栽培技術を取り入れた施設整備で施設野菜生産の充実を図っては。

答弁 新技術による栽培は農業センターで調査研究を継続して行います。原料トマトの確保と農業者の経営安定のために事業化に向け検討します。

質問 原料生産に合わせた公社工場の柔軟な稼働に対する行政の指導は。また近年、「高性能急速冷凍機」が開発されているが検討は。

答弁 工場の稼働には集荷体制や作業員の調整もあり、柔軟な対応は容易ではありません。今後も生産者とも協議をし、「JAの職員にも見ていただき調整していきます。

急速冷凍機は「四季の里」で2回試験的に活用しました。まだ研究が必要ですが、当面「四季の

里」の加工等を主に検討します。

質問 「オオカミの桃」のラベルから「鷹栖町」の文字が削除されたが、誤認を与えないように原料生産を町限定に戻しては。

町全体でブランドを守るために、鷹栖町の「オオカミの桃」だと全面に出すべき。公社に対してしっかり指導を。

答弁 現行の買い取り単価を維持するためにも生産量の確保が絶対必要であり、町内生産だけに限定するのは難しいと考えます。

鷹栖町の名前をPRすべく、公社に申し伝え、ブランドをしっかりと守っていきます。

質問



認知症予防教室

「一問一答方式」
…質疑事項を一つずつ取り上げ質疑、
答弁を繰り返す方法。

答弁

認知症テスト実施に向け研究する(町長)

答弁

小型家電の拠点回収を計画している(町長)

燃えないごみ減量化に向けての対策を

※小型家電には、希少価値のレアメタル等が含まれており、自動車部品・太陽電池パネル・LED照明など、ハイテク産業を支える大切な資源になる。今まで燃えないごみに出していたが、

※拠点回収を行い、ごみの減量化を図れないか。

※小型家電：携帯電話・スマートフォン・カメラ・炊飯ジャー・ドライヤーなど

※拠点回収：決められた場所に置かれたボックス等で回収

答弁 平成27年度から拠点回収を計画しています。なるべく早く住民への周知方法・処分の方法など検討し、管理型埋立

処分施設の延命を図りま

す。

質問 ごみの分別方法が一部変わったので、平成20年に配布された、家庭保存用「ごみの分別ガイド」を更新する考えは、また、たかす広報のごみ

分別Q&Aを載せては。

答弁 ホームページを含め、変更部分を訂正し、希望者に配布、また町民の方々が集まる機会にPRします。Q&Aはわかりやすい掲載方法を担当課と検討します。

「お互い様づくり行動計画」の実践による

社会福祉協議会の体制強化について、町の考えは。

答弁 社会福祉協議会事務局の体制強化に向け、新規に社会福祉士の資格者を配置するための財政支援をします。

認知症の高齢者は推定で460万人、

※軽度認知障がい(MCI)の方は約400万人いると言われている。

MCIの段階で気付けば治ると聞くので、特定健診時に、簡易認知機能チェックリスト(MMSE)を取り入れるなどの予防対策を考えては。

※軽度認知障がい(MCI)：認知症の前兆症状がある方。認知症の予備軍と言われる。

答弁 認知症は、発見が早期であればあるほど予防効果、治療効果が高いので早期発見が大変重要です。

認知症テストの実施も有効ですので、たくさんの高齢者の方に検査を受けてもらえる仕組みづくりや、認知症テストの種類・検査方法、検査後の相談指導体制も含め実施に向けて研究・検討を考えます。

また認知症サポーター養成講座を引き続き行い、認知症に関する普及・啓発を図っていきます。

～その他の質問～

- ・「お互い様行動計画」の町の役割は
- ・「オオカミの桃」のラベルに「鷹栖町」の表記を

坂根 玲子 議員



議員定数12名を維持

平成26年9月の第3回定例会において、「鷹栖町議会の議員定数に関する陳情書」が鷹栖町議員定数等調査特別委員会に付託されました。

その調査が11月28日に終了しましたので、結果をお知らせします。

【陳情要旨】

前回の地方統一選挙、補欠選挙は無投票選挙であり、町民の町政への関心が弱まり、本来の議会機能が失われるなどの弊害が心配される。

選挙を通じて有権者の審判を受けることは町民との信頼関係を築く基となるものであり、議会運営の透明化を図るために議員定数を見直す必要がある。削減する条例を制定しては、



委員会では…

議員定数をどうするか

定数を減とするとの意見も11名中4名からあった。多くの委員はまず、より一層の議会改革を進め、議会や議員の活動を町民に理解してもらうことが必要と考えており、議会活性化を進めながら今後も適正な定数を議論していく。

報酬をどう考えるか

諸般の事情を総合的に判断すると現在の額は妥当と考える。報酬を上げる必要があるとの意見も一部にあったが、現状を考えると、据え置くことはやむを得ないとした。ただし将来的には、活動の内容や質を総合的に判断した上での再考を望む。

議員定数は現状の12名とすることが適当と決定。

なお、一層の議会改革を図り、議会の活性化を推進することを条件とする。

11月28日の委員会では、定数削減に対して賛成4、反対7でした。

なお、委員会で作された主な意見は次の通りです。

定数を削減しない

○数年前定数の上限が撤廃されたが、改正前は人口2千人未満の町村の定数上限は12名だったことを考えると、本町の規模において12名は必要最小限の人数と考える。

○定数も報酬も、議会の機能やあり方などを総合的に判断し、導き出されるもの。議会が不活性だから減らせということだけで減らしていいのかわ。新たに議会のあり方などを常時検討し検証していく委員会を設置することを申し送り事項とすることを条件とした上で、現状の12名とする。

○議会としての活動を住民に理解してもらうためにやらなければならないことがたくさんある。だからこそ、

今は12人で手分けをしてやっていかなければならない。やった結果、減らせるのであればその時点で改めて考えたい。

○定数そのもの以外のごろに問題があるのではないかと。定数を減らせという大きな声は上がっていないように感じる。

○定数・報酬以前の問題がある。一層議会の活性化し活動を住民にアピールしていくことが重要だし、先にすること。議会の多くの活動が住民に知られていない。知ってもらうことが大事。議員の定数・報酬に正解はない。だから近隣の町村に倣ってということになってしまふ。

定数を削減する

■12名になった段階から議員は鷹栖町全体を考えて活動すべきだと考えていた。語ろう会では減らせという大きな意見はなかったように思うが、陳情が出ている以上、町民の意見を重視し減らすべき。

■議員活動はまだまだ町民に理解されていない。12名いないと議会・議員活動ができないということはない。行政との対峙、議員提案などもう一度襟を正して、最低でも1名減としてやっていくべき。

■議員や議会の活動を知らない人が大勢いる。もう少し活性化して住民に近い議

員活動をすべきだが、次の選挙が無投票あるいは定数割れとなるようなことを考えると1名減が妥当と考える。

【特別委員会 開催経過】

- H26.9.11 鷹栖町第3回定例会で特別委員会の設置を議決
- H26.9.30 議員全員が意向調査票を提出
- H26.10.1 第1回委員会（協議）
- H26.10.26 第2回委員会（協議）
- H26.11.17 第3回委員会（意見の集約）
- H26.11.28 第4回委員会（報告書案の検討）

陳情審査報告

委員会報告に基づき、12月12日の本議会で、「鷹栖町議会の議員定数に関する陳情書」が審査されました。

結果、陳情採択に賛成1、反対10で、陳情書は「不採択すべきもの」と決定しました。



■次回の定例会は3月です

「じゃくそうモニター」募集

鷹栖町議会では、より皆さんに親しみやすい「孔雀草」をつくるため、引き続き「じゃくそうモニター」を募集しています。モニターに採用された方には素敵なプレゼントを贈呈します。

【対象】 鷹栖町に住所、または職場がある方

【任期】 平成27年5月～平成28年2月

【お願いしたいこと】

年4回発行される議会広報「孔雀草」を読んで、感想や意見、要望のアンケートにお答えいただけます。

【謝礼】 オオカミの桃6本入りを1箱

【応募方法】

住所・氏名・年齢を電話、郵送、FAX、Eメールでお知らせください。

《応募先》 〒071-1292

鷹栖町南1条3丁目 議会事務局 宛

TEL 0166-87-2111 FAX 0166-87-2196

E-mail gikai@town.takasu.hokkaido.jp

議場コンサート

2014.12.11

定例会前に、たかす吹奏楽団の皆さんが、素敵な演奏を披露してくださいました。

曲は、サクソス四重奏「パイナップル・ラグ」ほか全3曲。クリスマスソングやとなりのトトロメドレーなど、とても楽しい演奏会になりました。

ご来場の皆さまにも楽しんでいただけたでしょうか。今後より一層親しみやすい議会を目指していきますので、お問い合わせの上、ご来場いただければ幸いです。

第4回 定例会 12月11・12日

子どもの発育記録「あったかスマイル」を作成

第4回定例会では、6名が一般質問(2～7ページ)に立ち、町長の考えをたずねました。また、条例、補正予算などを審議し、すべて原案のとおり可決しました。

- 4月投票の北海道知事・道議会議員選挙に向けた準備をします
- 源泉所得税徴収漏れがあり、延滞金・不納付加算税を町が負担します
- 子どもの発育・様子を記録する「あったかスマイル」ファイルを、全未就学児と小学生以上の希望者分作成します
- 大型車庫事務所の暖房機を更新修繕します
- 新入消防団員1名にかかる経費を増額します
- 小型スクールバスを修繕します
- ふるさと納税が増え、まちづくり応援基金に積立できます

平成26年度の補正予算は次のとおりです。



補正予算

	補正額	補正前の額	補正後の額	主な財源
一 般	6223万3000円	50億9808万7000円	51億6032万円	一般財源ほか
内 訳	総務費	6010万2000円	職員人件費、総務管理事業ほか	1632万4000円
	民生費	681万5000円	高齢者在宅生活支援事業ほか	国道支出金
	衛生費	85万円	国民健康保険特別会計繰出事業ほか	2270万9000円
	農林費	15万3000円	国営緊急農地再編整備事業ほか	寄附金
	土木費	△363万円	町道改良・舗装事業ほか	2670万円
	消防費	58万円	鷹栖消防団事業	町債
	教育費	△263万7000円	教育車輛運行管理事業ほか	△350万円
国 保	3126万8000円	8億8845万1000円	9億1971万9000円	国道支出金ほか
後期高齢者	△361万5000円	8783万1000円	8421万6000円	繰入金
介護保険	226万8000円	7億452万5000円	7億679万3000円	国庫支出金ほか

第4回 定例会

12月11・12日

エネルギー関連企業誘致を推進



条例

■鷹栖町特定教育・保育施設と特定地域型保育事業の運営基準に関する条例

■鷹栖町家庭的保育事業等の設備と運営の基準に関する条例

■鷹栖町放課後児童健全育成事業の整備と運営の基準に関する条例

右記3件は、子ども・子育て関連3法制定に伴い、基準等を市町村の条例で定めるものです。

■鷹栖町指定介護予防支援等の事業の人員と運営、指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援方法に関する基準等を定める条例

■鷹栖町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例

右記2件は、地方分権一括法に伴い、全国一律に定められていた基準等を市町村の条例で定めるものです。

一部改正の条例

■鷹栖町国民健康保険条例
産科医療保障制度の見直しに伴う数字の整理です。

鷹栖町企業立地推進条例

企業誘致を推進するため、新エネルギーを含めた電気・ガスなどのエネルギー関連企業の雇用を5人から3人にするなど、条件を緩和します。

鷹栖町地区住民センター設置と管理に関する条例

■鷹栖町北野コミュニティセンター設置条例

北成地区住民センター・維文分館の廃止に伴う文言の整理です。また、北野地区住民センターの和室A・B・Cが集会室A・Bとなります。



その他

■自動車事故による和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分報告

【相手方】
社会福祉法人さつき会
【賠償額】 54万円

定住自立圏形成協定の変更

【新しい事業】
無料法律相談事業・創業支援事業・企業誘致推進事業

財産の無償譲渡

指定障がい福祉サービス事業所用地として活用いただくため、無償譲渡するものです。

【相手方】
社会福祉法人鷹栖共生会

譲渡する財産

旧中央小校舎・グラウンド等の土地（鷹栖町1822番地25） 14911.72㎡

■鷹栖中学校大規模改修工事（建設主体工事）請負契約内容の変更

予定外の劣化や腐食があり、追加工事による増額です。

【契約金額】
1億8199万800円
（575万6400円増）

特別功労者表彰

永年、交通安全指導員としてご尽力された森本雅美様に特別功労賞が贈られました。



【総務文教・経済福祉常任委員会合同所管事務調査】2014年11月18～21日in長野県ほか

平成26年11月、総務文教常任委員会と経済福祉常任委員会が合同で所管事務調査として、道外各地で委員会視察を行いました。

視察内容は第4回定例会で報告しましたので、その内容をご紹介します。

視察したことは今後、町政や議会運営に生かしていきます。



南箕輪村役場にて

住民の意見を細かく発信！

南箕輪村議会 長野県

調査概要

平成22年に議会活性化研究会を発足して、村内の各種団体との懇談会を続けて、23年に議会基本条例を制定した。

さらに、議会情報委員会を設置して、ホームページや新聞・ケーブルテレビを活用、本議会のテレビ中継、インターネットの動画配信など細かく情報発信に努めている。

住民から出された意見や提言・要望などは、委員長会議で分類し、担当委員会で審議して政策立案や発議にして議員全員で対応しているが、人口約1万5000人で議員定数が10名と、十分に住民の声が聞けるのか懸案事項もある。

委員会所見

村議会議員は、地域活動に積極的に参加し、住民とともに活動している。また、情報委員会を設置して積極的にあらゆる媒体を使い、情報発信に努めて議会の見える化を図っていることは大いに学ぶ必要がある。

本町も情報発信に積極的に取り組み、より開かれた議会、町民に信頼される議員活動を目指したい。

町民と議会が一体に！ 「政策サポーター」とは!?

飯綱町議会 長野県

調査概要

平成17年に牟礼村と三水村の2村が合併して飯綱町が誕生したが、その3年後の第三セクター(スキー場等のリゾート地)の破綻をきっかけに、行政はもとより議会の責任も問われ、議会改革の検討を始めた。

議会活性化の取り組みは、町民が求める議会像を町民に宣言、追認機関からの脱出、政策サポーター制度による町長への提言等である。

委員会所見

各議員の共通認識として、本来あるべき2元代表制を貫く強い姿勢が見られる。開かれた議会を目指し、町民と議会が一体となって町へ政策提言する「政策サポーター制度」を軸に、議員は予算要求、予算・決算、一般質問まで積極的に活用している。

また、幅広い層から議員のなり手を確保しようと、議員報酬引き上げへの検討を始めている。本町でも地区制、人口等を十分に考慮して、時間をかけた調査が必要と考える。



飯綱町役場にて



岩沼市役所にて

東日本大震災からの復興！ 低コスト化・高付加価値化

宮城県岩沼市

調査概要

東日本大震災では、農地浸水や施設や機械の流失など、農業分野全体で約440億円もの被害があったが、平成23年9月には、本格的に復旧に着手した。

100回を超える説明会・会合を実施したり、3本以上の国の復興政策をうまく繋ぐなど、市は強力なリーダーシップをとっていた。

問題点もあるそうだが、低コスト化・高付加価値化・経営の多角化を目標にした総合的な農業対策として参考になるものだった。

委員会所見

鷹栖町においても農地集積、担い手対策、所得向上など、農業の総合的対策が求められている。岩沼市の取り組みも参考に、独自の総合的農業ビジョンの作成に向けて関係各機関の知恵を結集したい。



太陽光発電システムの説明を受ける（南相馬市）

日本一元気な村！

長野県 原村

調査概要

「日本一元気な村」をキャッチフレーズに高齢者の健康づくりと定住促進などの人口増から施策を調査してきた。元々、園芸作物中心が高齢者の有業率につながっており、生きがいを持って仕事をしていることが健康づくりになっている。

65歳以上の医療費や介護予防教室や各種健診を無料にしている。人口増対策は、第一段階では宅地や別荘地の分譲、第二段階では移住交流の受け入れ体制の整備。首都圏などで移住相談会を年3～5回、ボランティアの田舎暮らし案内人を交えた現地見学会を年4回程度開催し、平成20～25年の移住者は91組178人である。

委員会所見

65歳以上の医療費の無料化は、財政面から継続が難しくなっているとのことだったが、今後どのようにしていくつもりなのか注目していくべきと考える。高齢になっても仕事を続けることが健康づくりに有効だということも参考になり、移住相談会や現地見学会が効果を上げていることは、その方法など詳細な研究が必要と思われる。

太陽光発電利用で野菜生産！ エネルギー体験も

南相馬ソーラーアグリパーク 福島県南相馬市

調査概要

福島の子どもたちが未曾有の被災経験を通じて、全国からの支援への感謝・自分も人のために役立つ大人になりたい・自ら行動する力へと発展させていく成長支援の新しい仕組みとエネルギーのことを考え、体験して次の時代のエネルギーはどうあるべきかを判断できる人間になるための勉強をする施設。

委員会所見

福島第一原子力発電所近くにこの施設を3億2000万円もかけて造ったことは、子どもたちを始め、多くの人達に日本の科学エネルギーを考えてほしい意図がある。

本町も明日を担っていく子どもたちに、太陽光発電を始め、その他色々なエネルギーを身近に感じ、体験できる場所があることが望ましいと強く感じた。

第7回臨時会

10月22日に開催された臨時会において、専決処分の報告を受け、補正予算と特別功労者の選考同意について審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。

■※専決処分の報告…議会の委任により、軽易な事項を町が行い、事後報告を受けること

【比翼橋ほか交付金事業橋梁修繕工事】 契約金額 8202万6000円 (275万4000円増)
北斗橋・稲妻橋において、路盤等の腐食による追加工事のため、契約金額の増額です。

■補正予算

【一般会計】 福祉灯油等助成事業等による増額補正です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	738万9000円	50億7624万1000円	50億8363万円
民生費	696万円	福祉灯油等助成事業ほか	
商工費	42万9000円	消費者行政活性化事業	

■特別功労者の選考同意 永年、交通安全指導員としてご活躍された方の選考に同意しました。
森本 雅美さん(旭川市近文町)

第8回臨時会

11月27日に開催された臨時会において、3件の専決処分の報告と補正予算の専決処分、条例の改正、補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

■専決処分の報告

【静福橋交付金事業修繕工事(補正)】 契約金額 9774万円 (270万円減)
塗装を除去する材料が少なく済んだことによる、契約金額の減額です。

【比翼橋ほか交付金事業橋梁修繕工事】 契約金額 8244万7200円 (42万1200円増)
比翼橋において、橋の構造をつなぐ部分の劣化等による追加工事のため、契約金額の増額です。

【鷹栖町学校給食センター増改修工事】 契約金額 6947万6400円 (89万6400円増)
ボイラー等配管部の劣化等による追加工事のため、契約金額の増額です。

■※専決処分の承認…議会を召集する時間的余裕が無いため、事後報告を受けること

【一般会計補正予算】 第47回衆議院議員選挙にかかる経費を増額するものです。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	613万3000円	50億8363万円	50億8976万3000円
総務費	613万3000円	衆議院議員選挙執行事業	

■条例の一部改正

【職員の給与に関する条例等】 人事院勧告に基づく給与の改定をするものです。

■補正予算

【一般会計・公共下水道事業特別会計・水道事業会計】 人事院勧告に基づく給与等の増加分を増額するものです。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	832万4000円	50億8976万3000円	50億9808万7000円
議会費	36万4000円	議会運営事業(人件費)	
総務費	796万円	職員人件費	
公共下水道	23万1000円	2億6308万6000円	2億6331万7000円
水道	△18万円	2億8400万1000円	2億8382万1000円
収益的支出	37万円	職員人件費	
資本的支出	△55万円	職員人件費	

子どもたちの給食を自ら「田んぼの学校」 町産材を利用「公営住宅」

H26.10.27 管内中央部5町議員研修会
in 当麻町公民館「まとまーる」



「田んぼの学校」は、子どもたち自らが手がけた水稲を、学校給食に全て使う画期的な取り組みです。また、景観を楽しめるようにキタコブシ並木道やあぜ道をウォーキングコースとして町民に開放するなど、愛郷の心をはぐくむ大切な施設です。公営住宅を郊外から中心地へ移転し、「まちなか居住」を推進。買取方式でコストを縮減しています。町産材の活用を条件としたことで、必然的に町産材の流通経路ができたことは、大きな実績となっています。

政局展望

H26.10.28 管内町村議会議員研修会
in たかすメロディーホール

【政局展望】

ジャーナリストの長谷川幸洋氏から安倍政権の重要課題とその背景、政局の内幕と今後の見通し、日本は今後どうあるべきかについて、首相、官房長官を含む政権中枢部への取材を加えて詳細に解説していただきました。また、衆議院選挙の可能性の大きさについては、驚きました。

【日本創生会議の人口推計について】

慶応義塾大学教授で日本創生会メンバーの樋口美雄氏の講演は、日本の地方人口減が急速に進むことによる自治体の消滅というショッキングな内容でした。また、ブランド化の必要性については詳細に説明をしていたとき、有意義な講演でした。

議会のうごき 2014.11.1 ~ 2015.1.31

11月

- 11日 上川町村議会議長会臨時総会 (東京都)
- 12日 町村議会議長会全国大会 (東京都)
- 13日 上川管内町村議会議長会現地研修
(~15日 石川県)
- 17日 議員定数等調査特別委員会
- 18日 両常任委員会合同所管事務調査
(~21日 長野県ほか)
- 25日 せたな町議会視察研修来町
- 26日 総務文教常任委員会 (第8回臨時会について)
- 27日 **第8回議会臨時会**
議員協議会(パレットヒルズ実施に向けてほか)
上川町村議会議長会中央部正副議長研修会
(美瑛町)
- 28日 議員定数等調査特別委員会

12月

- 1日 経済福祉常任委員会 (第4回定例会について)
- 2日 総務文教常任委員会 (第4回定例会について)

- 5日 議会運営委員会 (第4回定例会の案件や意見書について協議し、会期などを決定)
- 11日 **第4回議会定例会** (~12日)
- 12日 議会報特別委員会
議員協議会 (大雨災害対応について)
- 14日 元議会議員高田義雄様高齢者叙勲伝達式
- 24日 議会報特別委員会

1月

- 13日 地域を語ろう会 (森のようちえん ぴっばら)
- 14日 議会報特別委員会
- 19日 議会報特別委員会
- 23日 経済福祉常任委員会 (第1回臨時会について)
総務文教常任委員会 (第1回臨時会について)
- 29日 上川中央部市・町議会議長会定例会議
(東川町)
- 30日 **第1回議会臨時会**
議員協議会 (行財政改革取組指針ほか)



相澤 峰基さん
(25区町内会)

「思うがまま」

先日、「たかす吹奏楽団」の初めての定期演奏会を聴いてきました。会場は満席、演奏もさることながら暖かい会場の雰囲気感到を覚えました。世代をまたいだメンバー構成、それを応援する仲間・家族・地域の人々、そのような関係が今の時代には必要なのでしょう。

私は農業者で、さまざまな農業団体の会合に顔を出しますが、その中心メンバーは50～60代です。機会の少なさもありますが、20～40代の担い手農業者にはもっと前に出て意見を述べてほしいと思います。自

己完結ではさびしい気がするし、横のつながりも大切にしてほしいと感じています。

4月には、町議会議員選挙があります。町民から出ていた定数削減の陳情は不採択となりましたが、選挙が定数割れということでは困ります。

現職の皆さまにもしっかりと対応を考えていただき、活発で意義のある議会運営の継続を望みます。

また、町民の意識高揚のためにも、投票行為のできる選挙になってほしいと思っています。

■ わたしの一言 ■

「最近思うこと」

私が5歳の時、鷹栖町に移住してから早65年経過し、気がつくとも既に70歳を超え、人生の約3分の2を終えました。

この間、勤めながら農業の手伝いをし、激動する社会変化を経験してきました。近年高齢者の数が増加し、子どもの数が減少するなど社会問題となって、高齢者の年金、生活、健康等、問題が山積しておりますが、私たちは90歳を超える父母を、皆さんのお世話になりながら、最期まで面倒を見ました。

現在の家庭的保障は常に変化し、

子が親を見る社会ではなくなってきているような気がします。その原因は、旭川を中心とした周辺地域に若者の働く場所が減少し、大都市に働く場を求め、故郷を離れ、その結果、人口の減少や農業者の減少につながり、経済にも大きな影響を与え、強いては社会保障の問題にも波及しています。

高齢者の頑固、孤独、不安から抜け出し、地域で頑張る若者と、いかに共存できるかが、今後のカギになると思っています。



長田 潔さん
(17区町内会)

くじゃくそうクイズ

次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。

問1. 第4回定例会で一般質問した議員は○名。

問2. H26.12月の議場コンサートで演奏したのは○○○○○楽団。

問3. 管内町村議会議員研修会の会場はたかす○○○○○○○○。



この議会だより「孔雀草」の中に答えがありますので、よく読んでみてください。

《応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。孔雀草を読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えいただければ幸いです。全問正解者の中から抽選で3名の方に図書カード1,000円分をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) 前は9名の方にご応募いただきました。ありがとうございました。

《あて先》

〒071-1292
鷹栖町南1条3丁目 議会事務局 宛
FAX 0166-87-2196
E-mail gikai@town.takasu.hokkaido.jp

《しめきり》

平成27年2月28日 消印有効

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。